

小田原市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 平成21年12月17日(木) 午後7時00分～午後8時55分
場所 小田原市役所 601会議室

2 出席した教育委員の氏名

- 1番委員 山田浩子
2番委員 前田輝男 (教育長)
3番委員 桑原妙子 (教育委員長職務代理者)
4番委員 和田重宏 (教育委員長)
5番委員 山口潤

3 説明等のため出席した教育委員会職員の氏名

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| 学校教育部長 | 木目田 和 義 |
| 生涯学習部長 | 和 田 豊 |
| 生涯学習部次長・生涯学習政策課長事務取扱 | 桐 生 薫 |
| 教育総務課長 | 曾 我 勉 |
| 学校教育課長 | 伊 澤 秀 一 |
| 教職員担当課長 | 西 村 泰 和 |
| 教育指導課長 | 柳 下 正 祐 |
| スポーツ課長 | 苅 谷 一 義 |
| 図書館長 | 森 徳 行 |
| 課長補佐兼指導主事・指導担当主査兼相談担当主査事務取扱 | 栞 畑 寿 一 朗 |
| 市立図書館担当館長補佐 | 鈴 木 健 |
| 教育研究所長 | 小 泉 信 二 |
| 教育指導課主幹・指導主事 | 中 畑 幹 雄 |
| 学校教育課主査
(事務局) | 濱 野 光 利 |
| 教育総務課長補佐・総務担当主査事務取扱 | 座 間 亮 |
| 教育総務課上級主査 | 瀬 戸 英 樹 |

4 議事日程

日程第1 議案第25号 平成22年度全国学力・学習状況調査への参加について
(教育指導課)

5 報告事項

- (1) 市議会12月定例会の概要について(教育総務課)
- (2) 第11回城下町おだわらツデーマーチ開催結果について(スポーツ課)
- (3) 小田原市立図書館コンクリート強度耐力度調査の結果について(図書館)
- (4) 平成21年度西湘地区教育委員会連合会の視察研修について(教育総務課)
- (5) 神奈川県市町村教育委員会連合会について(教育総務課)
- (6) 職務遂行に支障のある職員への対応の手引き(県費負担職員用)及び指導研修手続等に関する要綱について(学校教育課)
- (7) 和留沢地区自治会からの要望書について(学校教育課)
- (8) インフルエンザの学級閉鎖の状況について(学校教育課)

6 議事等の概要

- (1) 委員長開会宣言
- (2) 会議録署名委員の決定…桑原委員、山口委員に決定
- (3) 日程第1 報告第25号 平成22年度全国学力・学習状況調査への参加について
(教育指導課)

提案理由説明…教育長、教育指導課長

前田教育長…それでは、議案第25号「平成22年度全国学力・学習状況調査への参加について」を御説明申し上げます。同調査は、国が平成19年度から実施しておりますが、平成22年度の調査は、政権交代により悉皆調査から抽出調査になる予定です。11月定例会の協議事項では、今後の本市における学力・学習状況の把握について、国・県の方針変更やアンケート調査の結果、県内他市町の状況など、資料を基に事務局から説明させていただきました。本日は、小田原市として、平成22年度の全国学力・学習状況調査に参加するか否かについて、付議をいたすものです。細部につきましては、所管からご説明いたします。

教育指導課長…来年度の全国学力・学習状況調査について「小田原市として参加するか否か」について決定していただきますが、次の三つの選択肢の中から選んでいただくこととなりますので、よろしく願いいたします。調査には、抽出調査（４０％）と抽出以外の学校の希望調査がありますが、一つは、抽出校に加えて抽出されなかった学校も希望参加をする。つまり、小田原市全体が参加をする。二つ目は、抽出校は参加するが、それ以外の学校は参加しない。三つ目は、抽出校も希望参加もしない。つまり、小田原市としては一切この調査には参加をしない。という３つの選択がありますので、今回この中から決定をしていただくこととなります。前回の定例会で各委員さんには資料をお配りし、その内容についてはご理解いただいているとは思いますが、簡単に説明させていただきます。全国学力・学習状況調査に参加するメリットとしては、全国レベルの平均値、神奈川県全体の平均値、小田原市全体の平均値などから、全国と比較した客観的データが得られる点です。このデータを基に、今後の市の施策や学校の指導に大いに役立てることができます。デメリットとしては、希望参加した場合、参加校の採点や集計が職員の負担になるということです。学校と保護者に行ったアンケート調査の結果から、保護者アンケート結果からは「約８０％が全国学力調査への参加を希望している」ということ、学校の結果からは、採点や集計が職員の負担になるということから、不参加の要望が多かったということです。なお、前回の定例会で解答用紙の工夫などのパソコン処理により、先生方の負担を軽減する手立てが可能であるかどうかについてお尋ねがあった件については調査中です。また、文科省から要項が示されておりませんので、採点の手間がどのくらいかかるのかということは、現在は明確になっていないということがございます。以上、よろしく願いいたします。

（質 疑）

和田委員長…前回説明を受けた時に、抽出の40%は義務かと解釈いたしました。今の説明では、抽出されても不参加が有り得るということでしょうか。

教育指導課長…抽出されても断ることはできるということです。

和田委員長…県の学習状況調査についてもいただいています。これとの兼ね合いがもう一つ理解できなかった。再度説明をお願いします。

教育指導課長…県の調査は、抽出をされたら必ずやらなければならないことになっております。抽出校以外の学校は、県の調査を自校で印刷をして、ある部分を授業の中で使用するなど有効活用を行っています。

桑原委員…教員側にデメリットが多く、保護者側にメリットが多いという印象を持ちましたが、違う立場同士で話し合いの場が設けられなかったのでしょうか。

教育指導課長…ありませんでした。教員の中にも客観的なデータを持って自分のクラスの指導にあたるのが大事だという意識はございます。ただ、はっきりとした資料が来ませんので、採点方法がどうなるのか分からないというのもあると思います。

和田委員長…保護者の希望としては、自分のお子さんの位置を知りたいのではないかと思います。指導する側としては、全体を把握したいということではないでしょうか。

山口委員…平成19年度から始めて3年目になることから、前に小学校6年生でやった子が、今年中学3年生でもう一度出来るわけで、その子の進歩などが見ることができることは良い事だと思います。しかし、この調査で県や学校ごとに順位が出ますが、ほとんどが誤差範囲なので、そんなことに左右されるなどという意見も多くあるようです。また、国立教育政策研究所のサイトを見ると結果とそれに対してどういう授業をすれば良いかなどアドバイスが載っています。その辺を考えるとかなりお金がかかるようなので、今の市の財政を考えると全員参加はしなくても良いのではないかと思います。抽出された学校は、市はお金がかからないのでしょうか。

教育指導課長…抽出された場合にはまったくお金はかかりませんが、その他の場合も学校で工夫をして採点を行えば、お金はかかりません。抽出されなかった学校が、業者をお願いをして採点等の処理をした場合はお金がかかります。

が、現在市としてお金をかけるつもりはありません。学校で出来る限り簡単に採点する方法を今探っています。

和田委員長…実際に教育の実態から言うと、教育産業の占める割合が大きくて、学校だけの指導でこれが決まっているとは思えません。小学生の上級学年に行けば行くほど、学習塾等に参加している人達は多いです。だけれども同時に委員会としては、市民の方々に客観的なデータを出す義務もありますので、その辺の兼ね合いが難しいです。

前田教育長…小田原市教育委員会として、市全体の傾向を把握したい。それを施策に生かしていきたい。また、各学校で授業改善を進めてもらいたい。そのために、全国学力・学習状況調査も有効であると考えています。また、学校で教師が独自で採点する場合のメリットとしては、教師が自分のクラスの子の採点をするため、教師の指導の評価にもなりますし、テスト問題は学習指導要領の内容を踏まえていますので、授業改善にも大変役に立ちます。当然教育委員会でも授業改善を行っていますが、教師自身がプラスになる側面もあります。先生方で賛成されている方は、自分の評価と授業改善になる視点から賛成していると思います。ただ問題は、教員の多忙化がありますので、テストを実施する時間や採点等の時間を授業やその他子どもたちのための時間に当てたほうがよいのではないかという考えなどが、反対される主な理由だと考えています。

和田委員長…この時点で不参加という決定をした場合と参加とした場合で、大きく差が出てくるポイントは何でしょうか。文科省から詳細な連絡が来ていない現状ですので、後から復活するということはできるのでしょうか。

教育指導課長…一度不参加となりますと予算の関係もありますので、もう一度参加というのは難しいと思われれます。

学校教育部長…12月が国に対しての最終回答月ですので、ここで参加・不参加が確定すると国はそれで動きます。今の状況は、国が予算を最大限確保しておかないと今度予算が取れない部分が出ますので、未確定の部分について現在国は参加ということで予算を持っています。これからご判断いただきますが、詳細が決まっていないという判断は別にしていただいて、ここが最終回答月であることをご理解ください。

桑原委員…文科省で詳細が決まっていないということは、政権が交代したことが関係しているのでしょうか。

学校教育部長…40%の抽出調査については新しい政権から出てきたもので、事業仕分けや予算などもあり、現在決まっていないことは確かです。また、後ほど報告事項で今月の市議会の概要についてご説明いたしますが、来年度全国学力・学習状況調査に参加するかしないかについての質問が出ております。非常に議会としても関心を持っておりますので、可否どちらにしても理由を述べていただかないと、後日事務局として議会に説明がありますのでご留意くださいますようお願いいたします。

山口委員…実際採点するには、どれくらいの負担になるのでしょうか。

教育指導課長…テストの採点については、教員は日頃やっておりますし、その問題数が多いということぐらいだと私どもは解釈しております。また、国語・算数については、先ほど教育長も申しましたとおり、少し手間がかかっても自分のクラスの採点をするのは、教員としては本来の仕事ではないかと思えます。

桑原委員…時間はかかっても、自分で自分の生徒の採点をするのは当然のことではないでしょうか。

山田委員…先生が希望しないという比率が高いのは気になりますが、全国レベルの学力調査に参加することは重要なことだと思います。全国的な比較ができる調査には参加するべきではないかと思えます。

和田委員長…今までのお話を伺って、抽出校は参加したほうが良いと思いましたが、抽出校以外も今の段階では、自分のクラスの状況の把握や先生の指導の参考になるなどの点を考慮すると参加すべきではないかと思えます。

山口委員…市で予算を使わなくて済むのであれば、問題をもらって、それを有効に活用できるのであれば全員参加で異存ありません。

前田教育長…先ほど山口委員からもご意見がありましたように、今度の中学3年生は小学校6年生の時に調査を受けています。メリットとしては、その変容ぶりも見ることができると思えます。また、毎年受験者が変わりますので、新しい子どもたちの状況を把握することも必要ではないかと思えます。

桑原委員…今教育長がお話されたように、今年の6年生は去年の6年生に比べてどう

かというデータも参考になると思います。逆に参加しなければ、データ自体がないことになり対策も取れないということになると思います。

和田委員長…いただいた資料の中で、他市町村の状況がありますが、参加しないところでは、独自に調査をしているようで、小田原市ではありません。そういう点も考慮する必要があるのではないのでしょうか。

(その他質疑・意見等なし)

採決…抽出校及び希望校も参加することを全員賛成により可決

(4) 報告事項(1) 市議会12月定例会の概要について(教育総務課)

事務局説明…教育総務課長 資料1を基に説明

教育総務課長…2ページの陳情第74号栄養教諭の配置促進を求める陳情については、12月10日の本会議においては不採択となりました。また、議案第94号については、12月10日の本会議において原案どおり可決されました。次に3ページ以降は、教育委員会関係の一般質問の要旨になりますが、現在答弁用紙を作成中でありますので、来月の定例会でご報告いたします。

(質疑・意見等なし)

(5) 報告事項(2) 第11回城下町おだわらツデーマーチ開催結果について

(スポーツ課)

事務局説明…スポーツ課長 資料2-1を基に説明

(質 疑)

桑原委員…中学生のボランティアについては、市の方から呼びかけて参加してもらっているのでしょうか。

スポーツ課長…学校を通じて周知を図りました。

桑原委員…人数が増えたのには、何か理由があるのでしょうか。

スポーツ課長…中学生ボランティアの募集が3回目ということで浸透したのか、部活動の関係や友達同士で誘い合い、これまで以上に多くの生徒さんに参加していただきました。ただ今年はインフルエンザが流行していたため、若干辞退された方もおりました。

山口委員…県外の方も大勢参加していますが、宿泊の斡旋等はしているのでしょうか。

スポーツ課長…申込みの段階でパンフレットに、旅館組合の連絡先を記載しており、斡旋ではありませんが、ご案内はしています。

和田委員長…毎年この時期に実施しているとは思いますが、今回ある中学がこの日程がテストの直前だったと聞いています。市の大きな行事なので市内の学校の子どもたちが参加できるよう考慮する必要があるのではないのでしょうか。教育委員会として働きかけはできないのでしょうか。

スポーツ課長…ツーデーマーチの日程は、毎年11月の第3週の土日としております。今後とも周知を図り、より参加しやすい環境を整えてまいります。

(その他質疑・意見等なし)

(6) 報告事項(3) 小田原市立図書館コンクリート強度耐力度調査の結果について
(図書館)

事務局説明…図書館長 資料2-2を基に説明

(質 疑)

山田委員…今の段階では、この施設は心配なく使用できるということでしょうか。

図書館長…その通りです。

(その他質疑・意見等なし)

(7) 報告事項(4) 平成21年度西湘地区教育委員会連合会の視察研修について
(教育総務課)

(8) 報告事項(5) 神奈川県市町村教育委員会連合会について (教育総務課)

事務局説明…教育総務課長 資料3を基に説明

教育総務課長…続きまして、「神奈川県市町村教育委員会連合会について」をご説明いたします。来年度は、役員の改選の年度にあたり、平成22年度及び23年度は県西地区から会長を選出しますが、小田原市が会長市になり、委員長には会長になっていただく予定です。また、上部組織が全国市町村教育委員会連合会であり、教育委員必携にも出てきます。この全国組織と、さらに関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会など来年度役員になる予定ですので、ご報告させていただきます。

(質 疑)

和田委員長…まず、西湘地区教育委員会連合会の視察研修ですが、役員会でいくつか候補が出て、その中からそれぞれ選んでいただいて、事務局で詰めていく段取りで進めました。神奈川県立青少年センターは、青少年の問題は複合的な問題が多く、どこに相談して良いのかわからないということが多い現状です。ここは、そういう意味ではワンストップで、とりあえず問題がある方は相談するという場所で、様々な相談員がいますが、その後状況に応じて関係機関に繋げるという機能を持っています。警察本部は、今非行のお子さんたちの問題を警察の保護センターという場所で取り扱っています。横浜市や川崎市、海老名市などとは学校と警察が連携する取り決めをしているとのことで、県西地域はこの取り決めがないので、出来れば説明をさせてほしいということで、警察の担当者からの強い希望がありましたので、今回警察の取り組みを委員の皆さんに知っていただくということで企画いたしました。また、神奈川県や全国など連合会の役員になる件については、頻繁に会議に出席するようなのでしょうか。

教育総務課長…事務局も随行いたしますので、よろしく願いいたします。

和田委員長…一応、委員長が役員になるということでしょうか。

教育総務課長…そのようになります。もし、ご都合が悪い場合は代理をお願いすること

になります。

和田委員長…その時には、皆さんどうぞよろしくお願いいたします。

(その他質疑・意見等なし)

- (9) 報告事項(6) 職務遂行に支障のある職員への対応の手引き(県費負担職員用)
及び指導研修手続等に関する要綱について(学校教育課)

事務局説明…教職員担当課長 資料4を基に説明

(質疑・意見等なし)

- (10) 報告事項(7) 和留沢地区自治会からの要望書について(学校教育課)

事務局説明…学校教育課長 資料5を基に説明

(質 疑)

和田委員長…通学費補助制度について、現行どのようなものがあるのでしょうか。

学校教育課主査…現行の通学費の補助制度といたしましては、一つ目として本年度から片浦中学校の学校統合に伴う特別措置として通学費の補助をしております。二つ目として経済的に就学が困難と認められる世帯に対して就学援助費支給制度がありますが、この項目の一つに通学費があります。三つ目として主に特別支援学級在籍児童生徒の世帯に対して特別支援教育就学奨励費支給制度がありますが、学校給食費などの項目の一つに通学費があります。また、類似の制度として、小田原市特別支援学級児童生徒付添交通費補助金として、特別支援学級のお子さんに付き添う保護者に対する補助制度がございます。現在のところ、以上の制度の中で、和留沢地区の方が補助を受けているものはございません。

桑原委員…補助とは、具体的にどの程度なのでしょうか。

学校教育課主査…片浦中学校の学校統合に伴う特別措置としては、根府川駅から小田原駅間の1ヶ月の定期代2,670円を補助しています。就学援助費支給制度又は特別支援教育就学奨励費支給制度では、上限がありますが概ね実費を支給しております。小田原市特別支援学級児童生徒付添交通費補助金では、車で活用される場合に、自宅からの距離が5km未満の場合は1ヶ月2,700円、5kmを超える場合には4,590円、公共交通機関を利用する場合には、その実費の半額を補助しております。

和田委員長…今の説明ですと、和留沢地区に割り当てられる特別な補助の制度を追加することになるのか、現状の補助制度の中で対応が可能なのでしょうか。

学校教育部長…まさに適応ができないため、このような要望書が提出されたということになります。和留沢地区は住宅地から公共交通手段まで2.5km以上あり、且つ平地ではない土地です。当時は分校がありましたが廃校になったり、たまたま市の職員がいた時は公用車で送り迎えをしていましたが、職員の退職に伴い廃止されたという経緯があり、現在は保護者が車で送り迎えをしているという状況になります。通常の内市の平地で距離がある部分と地形的に違うことがこの中にあります。市内でバス等で通っている方も現にいらっしゃると思いますが、何をもって交通費を助成するかの基準をしっかりとっておかないと不平等差がでてくるということになります。公費で助成する場合は、根拠を持った基準を作成する必要があります。

学校教育課主査…要望書の中で「小学校4km、中学校6km」とありますが、この基準についてご説明いたします。これは、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令の中で、適正な学校規模の条件として、通学距離が小学校では概ね4km以内、中学校では概ね6km以内と定められており、こうした基準を基に通学費の補助をすべきか判断をしたいと考えております。

桑原委員…単純に考えるとこの基準を超えていますから、補助できるのではないかと思います。

学校教育部長…この条件は通学費を補助するための条件ではありません。適切な規模の学校が条件としては、小学校4km、中学校6kmだといっているだけであって、当てはめるとすればこの基準しかないということです。実は9月

の議会でも交通費の問題である議員さんから質問がありました。内容としては、小学校4 km、中学校6 km以内の方で学校に行くのにバスを利用していますが、それに対して補助できないかというご質問でした。難しい問題ですが、通学の助成をする基準ではありませんが、法律の中で学校の規模の条件である基準を使っています。和留沢地区は過去の歴史があり、公共交通手段も至近距離で2.5 km以上ある。また、傾斜地であるなど仮に補助するとなった場合でも、市民の方が納得していただける基準を設けることができるか、委員の皆様のご意見を伺えればと思います。

山口委員…今回和留沢地区の話ですが、それ以外に学校までの距離などが同様の地域はあるのでしょうか。

学校教育部長…和留沢地区と似たような地区はありません。

山口委員…基準をしっかりとっておかないと、後々いろいろな事例の中で不満が出てくるのではないのでしょうか。

学校教育部長…参考までにお知らせいたしますが、県内で助成をしているところはありません。例外として、学校が廃校になることに伴って条件として助成したり、市町村合併に伴って条件として助成している例はあります。

山口委員…久野小学校から白山中学校までの距離はどれくらいありますか。

学校教育課主査…約2 kmです。

学校教育部長…和留沢から白山中学校まで約8 km、和留沢から久野小学校まで約5.5 kmあると思われます。

山口委員…この距離だけの基準だと他の地域でも越えている方もいらっしゃるのではないかと思います。

山田委員…大窪小学校でも風祭・入生田の方から、電車代を何とかしてほしいということ聞いたことがあります。今回の問題は距離プラス山の中で傾斜がきついことや、子どもたちの身の安全を考えて特例で考えるのはどうでしょう。

和田委員長…他の地域では防犯のために地域の方が立っていたり、要するに大人の目の届く範囲に人が配置されている現状がありますが、この地域は難しいところもありますので、考慮する必要もあるのではないのでしょうか。

山口委員…距離の基準だけでは今後不都合が出るのが予想されますので、危険な事

故が起こることが考えられるなど特殊な条件を整えておく必要があるのではないのでしょうか。

前田教育長…和留沢は特別な地区であると思います。自宅からの距離ではもっとあるのではないのでしょうか。子どもの安全確保という視点から公正な基準を見出せば要望に答えるように努力する必要があるのではないかと思います。

和田委員長…子どもの通学路における犯罪などのケースでは、ほんの一瞬の出来事です。この地域は、大人の目が切れ目無く届くような地域ではないというのは明らかです。それでは、各委員から出た意見を参考にしながら、事務局で検討を重ねてください。

(その他質疑・意見等なし)

(11) 報告事項(8) インフルエンザの学級閉鎖の状況について(学校教育課)

事務局説明…学校教育課長 資料6を基に説明

(質 疑)

学校教育部長…山口委員にお聞きしたいのですが、一部の報道で新型と季節性のインフルエンザが混在していて、新型との区別がつきにくくなっているという情報がありますがお話を伺えればと思います。

山 口 委 員…遺伝子検査を原則行わなくなったので、検査をしてインフルエンザA型陽性と出ても、新型か季節性かの区別はつけられません。どちらの可能性もあります。ただ全国的に遺伝子検査をしている施設からの情報ですと、まだほとんど新型の遺伝子を持っていると聞いています。最近B型が出てきていますが、B型ならば季節性だと言われていています。

(その他質疑・意見等なし)

(12) 委員長閉会宣言

平成22年1月21日

委 員 長

署名委員（桑原委員）

署名委員（山口委員）